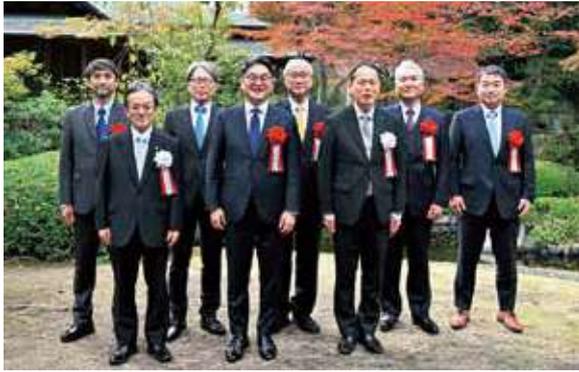


# 令和7年度 京都中小企業技術顕彰表彰式



受賞企業代表者

2025(令和7)年11月12日、京都府立府民ホール・アルティにて、京都府と(公財)京都産業21の主催による、「令和7年度 京都中小企業技術顕彰表彰式」を開催しました。この賞は、技術開発を通じて京都産業の発展に貢献したと認められた中小企業とその技術者を顕彰するもので、今年で33年目を迎えます。これまでに延べ215社、762名を表彰してきました。今年度は、株式会社最上インクスが技術大賞を、他5社が優秀技術賞を、そして各企業の技術者19名が優秀技術者賞を受賞されました。

表彰式では、初めに西脇隆俊京都府知事の代理として鈴木一弥京都府副知事があいさつし、「今回、技術大賞を受賞された株式会社最上インクス様の配管あと付け伝熱フィン『巻冷-MAKUREI』はもとより、優秀技術賞を受賞された皆様のいずれも、独自の技術とものづくりの力で、社会課題を解決する革新的な技術を開発されました。先般閉幕した大阪・関西万博においても、受賞企業の技術が活用されたと伺っており、こうした成果が万博のレガシーとして世界に発信されることを喜ばしく思っております。京都府としても、京都の産業や文化を後世に継承していくため、皆様の技術や製品を新たなビジネスチャンスにつなげ、明日の京都産業の礎となるよう取り組んで参ります」と述べました。

続いて、上田輝久京都産業21理事長が登壇し、「今回技術大賞・優秀技術賞を受賞された技術・製品は、それぞれ特徴的ですが素晴らしいものです。とりわけ技術大賞を受賞された株式会社最上インクス様の『巻冷-MAKUREI』は、まさに大賞にふさわしいオリジナリティ溢れる革新的な技術だと高く評価しました。多様な領域に活用され、省エネ化に大きく貢献される技術だと私自身強く感じています。京都の企業は、伝統産業の匠の技や大学との連携など、地域の資産と融合し、継続的な技術革新によって発展してきました。京都産業21は、多様なプログラムを通じて皆様の技術革新を支援して参ります」と、受賞企業・技術者の方々に深い敬意を表するとともに、今後のさらなる発展に期待を述べました。

受賞者への表彰・盾の贈呈の後、松野文俊技術顕彰委員会委員長が審査プロセスについて報告。さらに「株式会社最上インクス様の『巻冷-MAKUREI』は、伝熱フィンを配管に後付けで巻き付けることで冷却する技術です。極めて難しい技術を達成されただけでなく、これを装着することによって設備の投資コストを10分の1に抑え、ランニングコストを90%削減するなど素晴らしい実用性があること、さらには脱炭素にも大きく貢献するところを評価し、大賞としました」と講評しました。その後、受賞企業を代表し、技術大賞を受賞した株式会社最上インクスの代表取締役鈴木滋朗氏が受賞のあいさつを行い、喜びの言葉を述べました。次いで受賞企業6社が、受賞技術・製品についてプレゼンテーションを実施。来場者は各技術のすばらしさに改めて称賛の拍手を送っていました。



鈴木一弥 京都府副知事



上田 輝久 京都産業21 理事長

## SCREEN

人と技術をつなぎ、未来をひらく

# 輝け、未来。



株式会社SCREENホールディングス



CMキャラクター  
見上 愛

## 令和7年度「京都中小企業技術大賞」受賞企業

## 株式会社最上インクス

当社は、金属プレス加工業を営んで75年になります。小ロットの試作から量産までお客様の幅広いニーズに対応しています。2010(平成22)年に私が三代目を承継して以降、中小企業であっても社会に役立つ企業でありたいという思いを強くし、自分たちで生み出した技術や製品で社会課題を解決できないかと、シーズを模索してきました。お客様から寄せられる試作依頼のご相談を注意深く見ていると、放熱部品を作れないかという問い合わせが数多くありました。そこからたどり着いたのが、「熱」という課題でした。製造現場から出される排熱は大きな課題になっているだけでなく、地球温暖化という世界が抱える共通の課題に通じると考え、放熱をテーマに開発に取り組むことを決意しました。



株式会社最上インクス  
代表取締役 鈴木 滋朗 氏

当社が開発した「巻冷-MAKUREI」の特長は、配管に巻くだけで、冷却効果を得られる点です。金属製の薄板を蛇腹状にして表面積を拡大することで、効率的な放熱を実現。配管に伝熱フィンの後付けする形状を、金型を使用せず柔軟に加工することにより、どのような形状の配管にも装着し、冷却することを可能にしました。



既存設備の配管へあと付け

「巻冷-MAKUREI」を巻くことによって、冷却できるだけでなく、既存のガス冷却設備にかかる投資コストを10分の1にし、ランニングコストを90%も削減できます。冷却に要する配管の長さも短縮できる

## 配管あと付け伝熱フィン『巻冷-MAKUREI』

ため、省スペース化にも寄与します。お客様の工場の生産性向上にも貢献できるなど、思わぬ二次効果も実現しました。

「社会課題の解決」を目標に「巻冷」を開発しましたが、事業化までの道のりは、決して平たんではありませんでした。収益が上がり、事業化を諦めようかと迷ったこともあります。踏み留められたのは、お客様からの問い合わせが増え続けたことです。「世の中の求める声に応えよう」との思いでこの3年間、販売促進に注力してきました。その結果、食品や化学など多様な分野にお使いいただけるようになってきました。開発当初はまったく想定していなかった新たな顧客を創出できたことも、予期せぬ収穫でした。

今回の技術大賞の受賞は、開発に苦勞した技術者たちにとって、何よりの喜びと励みになります。また第三者機関から高く評価いただいたことは、今後の販売促進においても、力強い後押しになると期待しています。これを弾みに、国内はもちろん、海外にも展開していくつもりです。幅広い分野に展開し、地球規模で地球温暖化という大きな課題の解決に挑戦していきたいと考えています。



配管あと付け伝熱フィン「巻冷-MAKUREI」

## Company Data

- 代表取締役/鈴木 滋朗
- 所在地/京都市右京区西院西寿町5番地
- 電話/075-312-8775(代表)
- 創業・設立/1950(昭和25)年12月・1965(昭和40)年1月
- 事業内容/精密薄板金属加工・成形加工  
薄板自社ブランド製品(スタンダードフィン)製造
- ホームページ/<https://www.saijoinx.com/>



Tomorrow's solutions,  
today



はたらきを化学する。

〒605-0995 京都市東山区一橋野本町 11-1

# 令和7年度「京都中小企業優秀技術賞」受賞企業

## 株式会社アース・アナライザー

高精度自動離着陸・航行ドローンによる3D測量技術

高精度自動離着陸・航行ドローンにRTK-GNSSと姿勢制御技術を組み合わせることで、法面やハイピアなど、従来の技術では難しかった構造物や地形の3次元計測も、死角やデータの抜けがなく、mm単位の精度で行うことが可能です。また、国土交通省基準に準拠した信頼性の高いデータを提供し、BIM/CIM支援やインフラの維持管理、建設DXの推進など、幅広く貢献しています。



### Company Data

- 代表取締役／中川 将人
- 所在地／京都府綾部市測垣町蛭子谷27-1
- 電話／0773-42-0600
- 設立／2018(平成30)年7月
- 事業内容／建設工事のICT管理、システム開発
- ホームページ／<https://earth-a.jp/>



## NKE株式会社

オートテンション機構

チェーンコンベアにおける自動張力(テンション)付与機構であって、テンションプーリ(オモリ)とワンウェイクラッチ(張力揺れ防止)により、チェーンに対して自動で常に適正なテンション付与を可能としました。従来のねじ方式は手作業調整が必要であること、ばね方式は付与するテンションが変動することなどの欠点がありましたが、本機構はそれらを解決し、自動での安定稼働と保守性向上を実現しています。



### Company Data

- 代表取締役社長／中村 道一
- 所在地／京都市伏見区羽束師菱川町366-1
- 電話／075-924-0653
- 創業・設立／1968(昭和43)年3月・1969(昭和44)年8月
- 事業内容／全体最適モノづくりの提案、および支援機器の開発・製造・販売
- ホームページ／<https://www.nke.co.jp/>



## 共進電機株式会社

太陽電池セル全数検査用高精度・長寿命プローブバー

高効率太陽電池セルの精密な発電性能検査を可能にする革新的プローブバー「FSS 4」を開発しました。従来の点接触方式から革新的な線状接触構造により、高精度な4端子測定を実現しています。耐久性は1000万回以上と従来比の10倍となり、測定精度と耐久性を飛躍的に向上させています。また、HJT、TOPConやペロブスカイトタンデムなどの次世代セルにも幅広く対応しています。本技術は国内外の研究機関や大手メーカーで導入実績を積み、再生可能エネルギーの普及を支える基盤技術として、脱炭素社会の実現に貢献しています。



### Company Data

- 代表取締役／小島 久嗣
- 所在地／京都市下京区七条御所ノ内西町18
- 電話／075-311-8555
- 創業・設立／1948(昭和23)年4月・1955(昭和30)年2月
- 事業内容／太陽電池・新エネルギー関連機器／各種自動制御装置・自動検査装置／高電圧・高周波電源装置の開発、設計、製造、試作開発、OEM製作
- ホームページ／<https://www.kyoshin-electric.co.jp/>



## 竹中エンジニアリング株式会社 外乱光対策と低電流化を実現した二重変調方式の赤外線センサー

二重変調方式の赤外線センサーに関して、受光回路においてLC並列共振回路から見た入力インピーダンスを無視できる信号源を構成することで、太陽光などの外乱光に対するS/N比を改善し、その他回路なども最適化することで、低消費電流化を実現しています。さらに、業界初となる電池で駆動可能な二重変調方式の赤外線センサー無線タイプも製品化しています。これにより、誤報の低減や省エネ、配線工事の削減が可能となり、総合的な警備コストを下げ、安心・安全な社会の実現に貢献しています。



### Company Data

- 代表取締役社長／佐藤 和昭
- 所在地／京都市山科区東野五条通外環西入83-1
- 電話／075-594-7211
- 創業・設立／1959(昭和34)年5月・1972(昭和47)年1月
- 事業内容／セキュリティ・情報機器とその周辺機器の研究開発製造販売業務
- ホームページ／<https://www.takex-eng.co.jp/>



## 株式会社横井製作所

### 緩み止め機能付きワンサイドFRPボルト、ナット

道路構造物の老朽化問題により維持管理の重要性が高まっている中、高速道路や橋梁など点検補修工事のための作業足場に使用される樹脂製のボルト、ナットです。金属製と比較し30%以下の重量となるだけでなく、錆びることがないため長寿命化が期待できます。尚且つ射出成形ならではの形状の自由度を生かし、国際的な振動試験をクリアした緩み止め機能のほか、一方方向のみから締結できる独自形状を開発し、作業時間80%削減を実現しました。



### Company Data

- 代表取締役社長／横井 慎一
- 所在地／京都府宇治市伊勢田町浮面28-1
- 電話／0774-41-2681
- 創業・設立／1984(昭和59)年4月・1985(昭和60)年4月
- 事業内容／精密PLASTIC射出成形部品の企画製造
- ホームページ／<https://yokoiss.com/>



## 京都中小企業優秀技術者賞(6企業19名)

(敬称略、順不同)

- 株式会社最上インクス：松井 勝則、福田 真弘、日置 泰文、松本 穂高、上田 真己
- 株式会社アース・アナライザー：荒木 寿徳、内藤 建郎、グエン ティエン フック、ファム ヴァン タイ、ファム テズイ
- NKE株式会社：荒木 悠平
- 共進電機株式会社：中道 裕二、藤田 裕司、芝本 和彦、倉田 健司
- 竹中エンジニアリング株式会社：阪口 典久、梅野 尚己
- 株式会社横井製作所：横井 洋治、柳田 和輝



パネル展示の様子



受賞企業プレゼンの様子



京都中小企業優秀技術者賞受賞のみなさま

●お問い合わせ先／(公財)京都産業21 中小企業ワンストップ相談センター お客様相談室 連携・人材・技術担当 TEL:075-315-8660 E-mail:kensho@ki21.jp